

レベル向上を目指し合同訓練

～第6回消防救助技術交流会

大館・能代・北秋田の消防隊員が消防救助技術を競う「平成19年度消防技術交流会」が6月12日、東中岱の北秋田市消防署訓練場で開かれ、消防救助のエキスパートたちが日頃の訓練の成果を披露しました。

訓練は、安全、確実、迅速を基本として「ロープブリッジ渡過」、「ほふく救助」、「ロープ応用登はん」、「引揚げ救助」など4種目で個人とチームの技術を競い合いました。

参加した12人の隊員たちは、気温が30度近くまで上昇するコンディションとなったにもかかわらず、一瞬も気を緩めることなく、真剣に訓練に臨んでいました。



▲水平に張られた延長20mのロープ上を進む「ロープブリッジ渡過」

住みよいまちづくりを

～ごみを活かす合川地区市民会議

ごみを活かす合川地区市民会議(伊東和子会長)の19年度総会が6月6日、合川支所で開催され、会員や関係者など約60人が出席し、今年度の活動等について話し合われました。

総会では、伊東会長が「環境にやさしい地域づくりをしたいという願いから、ごみの減量、分別、資源化、リサイクル活動を目的として会が発足した。地域総ぐるみの活動は、高く評価されている。今年度も充実した活動ができるよう進めたい」とあいさつ。

今年度は、例年行っているごみの減量化など啓発活動やリサイクル活動の他、買物のマイバック持参の推進、国体の環境美化活動への協力を予定しています。



▲行政、住民、学校、事業所と総ぐるみの活動を展開するごみを活かす合川地区市民会議

内陸線で出かけよう

～前田保育園親子遠足

6月16日、前田保育園(松橋多美子園長)の園児とその父母らが内陸線を利用して遠足に出かけました。

遠足には、約120名が参加。阿仁前田駅から乗車し阿仁合駅までの区間を、親子で車窓を眺めながらちよっとした旅行気分。下車後、遠足先の河川公園へ徒歩で向かい、おとうさんが先生になつての紙飛行機を作ったりゲームやフオークダンスを楽しみました。

楽しみのお昼ご飯はおかあさんが作った弁当を美味しく食べて、園児の皆さんは満足そうな笑顔で親子の会話も弾んでいました。

内陸線の旅と阿仁の自然の中で親子の絆を深めることができ、楽しい遠足となりました。



▲内陸線でGO! 旅行気分笑顔が溢れる車内

まじろもったおもてなし

～国体民泊衛生・調理講習会開催

6月20日、阿仁地区民泊協会の調理班を対象に、衛生講習と調理講習がふるさと文化センターで行われました。

衛生講習では、北秋田保健所から講師を招き、食材・調理器具の取り扱いなど食事を提供する際の細かな指導を受けました。引き続き行われた調理講習では、秋田わか杉国体まじろメニューの中から6品目を選び、栄養量が管理されたメニューとあって正確に計量したあと手際よく調理を行いました。

阿仁地区ではアーチェリー競技に参加する選手等約110名を受け入れる予定で、最良のコンディションで活躍できるよう講習を繰返し本番に臨むことにしています。



▲衛生管理について講習を受ける調理班の皆さん

恒久平和の誓い新たに

～合川地区戦没者追悼式

合川地区の戦没者追悼式が6月20日、遺族や関係者など約70人が出席し、大野台ハイランドハウスで行われました。

追悼式では、松橋茂合川遺族会会長が「戦争から半世紀以上が経過し、我が国は発展を遂げてきましたが、その背景には、戦火の中で逝かれた英霊の無念の心情があり、私達の心に深い教訓となっております。戦争を知らない世代が過半数を占める中で、戦争の悲しさと命の尊さを後世に語り継ぎ、恒久平和の願いが届くよう新たな祈りを捧げます」と誓いました。

合川地区では、359柱の御尊名が、大野台ハイランドの一角に建立されている平和観音像に納められています。



▲冥福を祈り献花する戦没者家族の皆さん

3商工会合併へ組織一本化を目指す

～合併に関する基本協定書調印式

市内3商工会(鷹巣町・合川町・阿仁森吉)の合併に関する基本協定調印式が6月15日にホテル松鶴で行われました。

調印式の前に行われた北秋田市地区商工会合併推進協議会では、会長に伊藤公夫鷹巣町商工会長を選任し、今後のスケジュール等を決定しました。

調印式では、伊藤会長が「本当の合併協議はこれから。合併実現に向けて協力をお願いします」と挨拶し、3商工会長が協定書に調印のあと、岸部市長も含め4人で合併に向けて固く握手を交わしました。

今後、協議を重ね来年4月の合併を目指す予定です。



▲来年4月の合併に向けて合併協議が本格的にスタート